

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月13日

上場会社名 松本油脂製菓株式会社  
 コード番号 4365 URL <http://www.mtmtvs.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 直樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 山田 正幸  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 JQ

TEL 072-991-1001

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	20,262	—	713	—	812	—	△89	—
20年3月期第3四半期	20,679	10.2	1,297	△16.2	1,906	△9.2	1,273	6.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△8.26	—
20年3月期第3四半期	113.90	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第3四半期	46,457	80.6	37,596	80.6	—	—	3,675.54	—
20年3月期	49,482	80.6	40,092	80.6	—	—	3,569.77	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 37,425百万円 20年3月期 39,905百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,850	5.6	1,270	△8.1	1,530	△18.3	920	△32.7	84.82

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

#### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	11,281,629株	20年3月期	11,281,629株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	1,099,328株	20年3月期	102,879株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	10,846,296株	20年3月期第3四半期	11,179,827株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、米国に端を発したサブプライムローン問題による世界的な金融危機が、实体经济にまで影響を及ぼしてきたことで、消費者の購買意欲が急激に低下し、企業の生産活動に更に深刻な影響を与えるなど過去に例を見ない不況に突入いたしました。当社グループの重要な販売分野であります繊維産業におきましては、国内につきましては製品の差別化等で他国に比較し影響は少ないものの、アジア諸国は大打撃を受け、特に主要生産国となった中国は米国向け輸出が急減したことで、企業の存続をかけて生産中止や大幅減産を行っております。また、非繊維分野におきましても自動車の大幅減産や住宅の販売不振が拡大しております。

このような状況下、当社グループでは、市場ニーズに合致した商品の早期開発と価格改定に努めてまいりましたが、予想を上回る市場の急激な縮小と想定以上の円高により、当第3四半期連結累計期間における実績は、売上高20,262百万円、営業利益713百万円、経常利益812百万円、また株安、円高の影響で投資有価証券等の特別損失を計上した為、四半期純損失89百万円となりました。

・事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

- ① 界面活性剤部門における当第3四半期連結累計期間の売上高は14,084百万円、営業利益は472百万円となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、合繊メーカー各社の減産の影響で関連製品の販売が減少しました。また、海外の汎用品も急激な生産調整が行われ、販売が減少し、売上高2,310百万円となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、国内では、テキスタイル分野の加工量が減少しましたが、新規拡販で洗浄剤、機能剤が伸張しました。また、弾性繊維や炭素繊維用処理剤が好調に推移しました。海外では、工業用繊維分野は比較的落ち込みは少なかったものの、衣料用や弾性繊維の落ち込みが激しく、また、化学工業分野では既存商品の原料価格転嫁があり、売上高11,137百万円となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、前年に引き続きアクリル、ウールの大幅減産により、関連加工剤の販売が減少しました。化学工業分野での値上げにより一部商品の販売減少を補いましたが、売上高635百万円となりました。

- ② その他部門における当第3四半期連結累計期間の売上高は6,178百万円、営業利益は240百万円となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、繊維関連では、スパン糸用糊剤は前年を上回りましたが、フィラメント用糊剤の販売は減少しました。非繊維関連では、建材関係は着工件数の低迷、公共工事減少による有機高分子製品の出荷減少に加え、自動車生産台数削減、在庫調整により、ゴム成形品加工剤、熱膨張性マイクロカプセルも調整局面となり、売上高6,178百万円となりました。

・所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

- ① 日本における当第3四半期連結累計期間の売上高は19,897百万円、営業利益は603百万円となりました。
- ② インドネシアにおける当第3四半期連結累計期間の売上高は565百万円、営業利益は121百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という）比3,025百万円（6.1%）減少して、46,457百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が7,375百万円減少したことなどにより、前期末比5,006百万円（14.7%）減少の29,052百万円となりました。固定資産は、建物及び構築物が1,373百万円、機械装置及び運搬具が790百万円それぞれ増加したことなどにより、前期末比1,980百万円（12.8%）増加の17,405百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前期末比529百万円（5.6%）減少の8,861百万円となりました。流動負債は、買掛金が645百万円減少したことなどにより、前期末比525百万円（5.8%）減少の8,549百万円となりました。固定負債は、退職給付引当金が1百万円減少したことなどにより、前期末比4百万円（1.3%）減少の311百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、自己株式が1,454百万円増加したことなどにより、前期末比2,496百万円（6.2%）減少して37,596百万円となりました。

この結果自己資本比率は、前期末の80.6%から変わらず80.6%となりました。期末発行済株式総数に基づく1株当たりの自己資本は、前期末の3,569円77銭から3,675円54銭となりました。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ5,932百万円減少し、12,490百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純損失が45百万円となり、減価償却費が548百万円、為替差損が451百万円であったのに対し、仕入債務の減少が634百万円、その他の流動資産の増加が2,216百万円となったため、営業活動によるキャッシュ・フローは1,807百万円の支出となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出が2,525百万円、投資有価証券の取得による支出が541百万円となりましたが、定期預金の払戻による収入が1,500百万円となったため、投資活動によるキャッシュ・フローは1,527百万円の支出となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払額が670百万円、自己株式取得による支出が1,454百万円となったため、財務活動によるキャッシュ・フローは2,094百万円の支出となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、経済情勢及び為替の動向も不透明でありますので、平成20年5月16日発表の通期の業績予想を変更しておりません。今後、第4四半期の業績動向等も勘案したうえで、通期業績予想の修正を行う必要があると判断される場合には、速やかに公表いたします。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価格を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④経過勘定項目の算定方法

固定費的な要素が大きいものについては、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

⑤法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。これによる影響はありません。

③連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号）を第1四半期連結会計期間から適用し、連結上必要な修正を行っております。これによる影響は軽微であります。

(4) 追加情報

法人税法の改正（所得税法等の一部を改正する法律 平成20年4月30日 法律第23号）に伴い、法定耐用年数及び資産区分が見直されました。これにより、当社の機械装置については、従来耐用年数を主として7年としておりましたが、第1四半期連結会計期間よりその一部を8年に変更しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は41百万円増加し、税金等調整前四半期純損失は、同額減少しております。

## 5. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,187	21,562
受取手形及び売掛金	7,701	7,627
有価証券	643	700
商品及び製品	1,918	1,835
仕掛品	452	364
原材料及び貯蔵品	1,404	1,262
繰延税金資産	101	481
その他	2,641	223
流動資産合計	29,052	34,058
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,698	4,232
減価償却累計額	△3,085	△2,992
建物及び構築物（純額）	2,613	1,240
機械装置及び運搬具	9,214	8,108
減価償却累計額	△6,978	△6,663
機械装置及び運搬具（純額）	2,236	1,445
土地	534	536
建設仮勘定	387	599
その他	1,564	1,507
減価償却累計額	△1,307	△1,266
その他（純額）	257	240
有形固定資産合計	6,029	4,062
無形固定資産	30	21
投資その他の資産		
投資有価証券	9,780	10,450
長期貸付金	274	303
繰延税金資産	750	12
その他	562	586
貸倒引当金	△23	△13
投資その他の資産合計	11,345	11,339
固定資産合計	17,405	15,424
資産合計	46,457	49,482

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,906	6,552
短期借入金	1,030	1,000
未払法人税等	38	99
賞与引当金	170	346
その他	1,403	1,076
流動負債合計	8,549	9,074
固定負債		
退職給付引当金	234	236
その他	77	79
固定負債合計	311	315
負債合計	8,861	9,390
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,090	6,090
資本剰余金	6,517	6,517
利益剰余金	26,932	27,693
自己株式	△1,738	△283
株主資本合計	37,802	40,017
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△221	△9
為替換算調整勘定	△155	△102
評価・換算差額等合計	△377	△112
少数株主持分	170	186
純資産合計	37,596	40,092
負債純資産合計	46,457	49,482

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	20,262
売上原価	16,318
売上総利益	3,943
販売費及び一般管理費	3,230
営業利益	713
営業外収益	
受取利息	272
受取配当金	48
投資事業組合運用益	191
その他	91
営業外収益合計	605
営業外費用	
支払利息	12
持分法による投資損失	14
支払手数料	13
為替差損	454
その他	11
営業外費用合計	505
経常利益	812
特別利益	
貸倒引当金戻入額	2
特別利益合計	2
特別損失	
固定資産除却損	3
投資有価証券評価損	856
特別損失合計	860
税金等調整前四半期純損失(△)	△45
法人税、住民税及び事業税	208
法人税等調整額	△212
法人税等合計	△3
少数株主利益	48
四半期純損失(△)	△89

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△45
減価償却費	548
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9
賞与引当金の増減額(△は減少)	△176
受取利息及び受取配当金	△321
支払利息	12
持分法による投資損益(△は益)	14
有形固定資産除却損	3
投資有価証券評価損益(△は益)	856
為替差損益(△は益)	451
売上債権の増減額(△は増加)	△80
たな卸資産の増減額(△は増加)	△332
仕入債務の増減額(△は減少)	△634
未払消費税等の増減額(△は減少)	32
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△2,216
その他の流動負債の増減額(△は減少)	211
小計	△1,667
利息及び配当金の受取額	327
利息の支払額	△9
法人税等の支払額	△458
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,807
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	1,500
投資有価証券の取得による支出	△541
投資有価証券の売却による収入	23
有形固定資産の取得による支出	△2,525
有形固定資産の売却による収入	3
無形固定資産の取得による支出	△12
長期貸付金の回収による収入	1
保険積立金の積立による支出	30
その他	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,527
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	30
自己株式の取得による支出	△1,454
配当金の支払額	△670
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,094
現金及び現金同等物に係る換算差額	△502
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,932
現金及び現金同等物の期首残高	18,423
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,490

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	界面活性剤 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1)外部顧客に対する 売上高	14,084	6,178	20,262	—	20,262
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,084	6,178	20,262	—	20,262
営業利益	472	240	713	—	713

(注) 事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品の名称

事業区分の方法……製品の種類別区分による

各区分に属する主要な製品の名称

界面活性剤…………… 化合織紡糸紡績用油剤、織布用経糸油剤、帯電防止剤、化粧品原料

その他…………… 経糸用糊剤、触感向上剤

## 【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	インドネシア (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1)外部顧客に対する 売上高	19,748	513	20,262	—	20,262
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	148	51	200	(200)	—
計	19,897	565	20,462	(200)	20,262
営業利益	603	121	724	(11)	713

## 【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	6,851	971	7,823
II 連結売上高(百万円)	—	—	20,262
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	33.8	4.8	38.6

(注) 1 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

国又は地域の区分の方法 地理的近接度による

各区分に属する主な国又は地域 アジア

インドネシア、タイ、台湾、中国、韓国

その他の地域

アメリカ合衆国、メキシコ、フランス、イギリス

2 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

当社は、平成20年10月7日及び10月14日に、株式会社ジャスダック証券取引所における自己株式取得のための固定価格取引による買付により、自己株式を取得いたしました。この結果自己株式は、当第3四半期連結累計期間において1,454百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において1,738百万円となっております。

## 「参考資料」

## (要約) 前四半期連結損益計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金額 (百万円)
I 売上高	20,679
II 売上原価	15,894
売上総利益	4,785
III 販売費及び一般管理費	3,488
営業利益	1,297
IV 営業外収益	996
V 営業外費用	386
経常利益	1,906
VI 特別利益	374
VII 特別損失	11
税金等調整前四半期純利益	2,269
税金費用	975
少数株主利益	20
四半期純利益	1,273